

【上図】(左・右) VR 作品『唐招提寺～金堂の技と鑑真和上に捧ぐ御影堂の美～』製作・著作：凸版印刷株式会社 / TBS 監修：鈴木嘉吉・大山明彦
協力：唐招提寺データ提供：独立行政法人 情報処理推進機構 先導的アーカイブ映像製作支援整備事業より (右下) デジタル絵巻コンテンツ『東征伝絵巻 鑑真和上 辛苦の旅路と信念を描く』上演風景 製作・著作：律宗総本山 唐招提寺 / 凸版印刷株式会社

講師

(左) 石田 太一 (いしだ・たいち) / 唐招提寺 副執事長

(右) 神田 昌典 (かんだ・まさのり) / 経営コンサルタント・作家

現代のビジネスパーソン必見!!

Toppan VR セミナー「鑑真和上に学ぶ異国への挑戦」を開催

凸版印刷株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金子眞吾、以下 凸版印刷）は、森ビル株式会社 アカデミーヒルズと共同で、Toppan VR セミナーシリーズ「鑑真和上に学ぶ異国への挑戦 ～唐招提寺伝来『東征伝絵巻』で読み解く不屈の精神～」を2016年7月7日に開催します。

Toppan VR セミナーは、凸版印刷のデジタルアーカイブ技術をもとに制作された VR（バーチャルリアリティ）作品を鑑賞しながら、日本美術の真髄に迫るセミナーシリーズです。今回のセミナーでは、東シナ海をわたる5度の航海に失敗し、両目の視力を失ってもなお、日本に仏教の戒律をもたらすために渡日の挑戦を続けた唐招提寺の開祖、鑑真の「不屈の精神」に着目。この精神は、グローバル化の波に直面する日本のビジネスパーソンにおいても求められているものではないでしょうか。

講師には、唐招提寺・副執事長である石田太一氏と、経営コンサルタント・作家の神田昌典氏をお招きし、石田氏の講話と、神田氏のビジネスパーソンからの視点によるお話で、鑑真の不屈の精神を解説いたします。通常の展示では一度にすべてを見ることが困難な、全5巻、延べ83mにおよぶ「東征伝絵巻」を、高精細デジタルアーカイブデータを用いた、凸版印刷独自のVR技術を活用したデジタル絵巻コンテンツ『東征伝絵巻 鑑真和上 辛苦の旅路と信念を描く』で拡大して鑑賞。異なるフィールドで活躍されている両者の視点から、はるか天平時代の高僧による「異国への挑戦」にその真髄を学びます。

- 名 称：六本木アートカレッジ・セミナー Toppan VR セミナーシリーズ
「鑑真和上に学ぶ異国への挑戦～唐招提寺伝来『東征伝絵巻』で読み解く不屈の精神～」
- 会 場：アカデミーヒルズ（六本木ヒルズ森タワー 49階）
- 日 時：2016年7月7日（木）19：00～20：30 ■ 受講料：4,000円 ■ 定 員：150名
- 申し込みURL：<http://www.academyhills.com/school/artcollege/detail/toppan20160707.html>

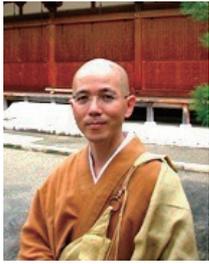
[報道に関するお問い合わせ・掲載用写真について]

凸版印刷株式会社 文化事業推進本部 パブリシティ担当

E-mail：bunkajigyo@toppan.co.jp TEL：03-5840-4899 FAX：03-5840-1910

□講師紹介

石田太一 (いしだ・たいち) 唐招提寺 副執事長



1967年奈良県生まれ。1973年10月6歳で得度(戒師:唐招提寺第81世長老・森本孝順和尚)。1990年3月京都教育大学教育学部数学科卒業。1995年から唐招提寺に勤務し、2016年4月より唐招提寺副執事長を務める。1998年に始まった金堂平成大修理では、現場担当者として建物や仏像の解体、移動、組立の作業を間近で取材しつつ、各方面関係者との連絡調整役を果たした。2001年からの「国宝 鑑真和上展」では、宝物輸送のトラックに同乗して国宝「鑑真和上坐像」のお供をし、全国10会場、移動総距離約12,000kmを回った。

神田昌典 (かんだ・まさのり) 経営コンサルタント・作家



1964年生まれ。上智大学外国語学部卒。大学3年の時に外交官試験合格。外務省経済局、米国大手家電メーカー日本支社長として活動。その間ニューヨーク大学経済学修士、ペンシルベニア大学ウォートンスクール経営学修士。1998年、経営コンサルタントとして独立。コンサルティング、執筆、講演、講師活動などを行っている。主な著書に「全脳思考」。公益財団法人日本生涯学習協議会の理事を務める。

□重要文化財「東征伝絵巻」について

日本からの要請を受けた唐の名僧 鑑真和上が、5度の失敗を乗り越えて日本に渡航し、多くの日本人僧に仏教の戒律を授けた半生を伝える絵巻です。奈良時代に書かれた鑑真和上の伝記「唐大和上東征伝」を元に、鎌倉時代、鎌倉・極楽寺の僧、忍性が制作を発願、唐招提寺に奉納しました。以来、自らの生命の危険を顧みずに、日本の仏教発展のために渡来した鑑真和上の業績を世に知らしめるものとして、鑑真和上が自ら創建した唐招提寺に大切に伝えられています。



(上) 重要文化財「東征伝絵巻」第4巻 鑑真和上一行が日本に向けて遣唐船に乗り込む場面

(左) 文化財専用大型スキャナーでデータ取得

□凸版印刷のVR・デジタルアーカイブへの取り組み

凸版印刷では「印刷テクノロジー」で培った高精細・大容量のデジタル画像処理技術やカラーマネジメント技術、立体形状計測技術を核に、文化財の高精細デジタルアーカイブに取り組み、これまでに、マチュピチュ(ペルー)、国宝「鑑真和上坐像」(唐招提寺所蔵)、国宝「檜図屏風」(東京国立博物館所蔵)など、国内外で数々の貴重な文化財や世界遺産をデジタルアーカイブ化しています。さらに、文化財のデジタル展示手法としてVR技術の開発に取り組み、『ナスカ』や『唐招提寺～金堂の技と鑑真和上に捧ぐ御影堂の美～』、『洛中洛外図屏風 舟木本』など、著名な文化財をテーマにしたVR作品を1997年から50本制作しています。また、大型スクリーンを用いたVRシアターの導入を進め、海外では中国・故宮博物院やホンジュラス共和国博物館、国内では東京国立博物館の「TNM&TOPPAN ミュージアムシアター」や日光東照宮東照宮シアター、堺市博物館 百舌鳥古墳群シアターなど22拠点にトッパンVRシステムを導入、文化財VR作品を上映・上演しています。

公式サイト URL : <http://www.toppan-vr.jp/bunka/>

□六本木アートカレッジに関するお問い合わせ

アカデミーヒルズ スクール事務局 「Roppongi BIZ」あて

受付時間: 10:00-18:30 (土・日・祝・年末年始を除く)

※お電話及びメールでの講座お申込は受け付けておりませんのでご了承ください。

電話番号: 03-6406-6200

サイト URL: https://form.mori.co.jp/form/pub/academy/biz_inquiry